

## 地域ニュース

# 企業主導で子育て応援

## 加古川に保育園、来月開園

### オークラ

物流システムメーカー「オークラ輸送機」（加古川市）を中核とするオークラグループは4月、企業主導型保育事業所「あるこ保育園」を同市平岡町に開園する。従業員世帯だけでなく、一般世帯の子供も受け入れる。

グループ企業で、介護事業なども手掛ける「オークラサービス」が、創業50周年（令和3年）の記念事業として保育園開設を計画。優秀な若い人材の出産や育児を理由とした離職を食い止めるのが狙いだが、企業

主導型保育事業制度の適用を受けするため定員（31人）の約半分を自社や関係企業の従業員以外の「地域枠」（最大15人）とした。

骨2階建ての園舎（延べ300平方メートル）を建設。同社運営の介護事業所などの名称と同じ「あるこ」を園名に冠した。

0～5歳児を受け入れ、働く親の就業状況を考慮して開園時間は午前7時半～午後8時半の13時間。睡眠中の事故を防ぐため午睡チエックシステムを導入。

守本かをり園長は「『モンテッソーリ教育』の視点で、成長段階に応じて子供が遊びを選んだり、したい遊びを考えたりする環境を整えています」と話している。

企業主導型保育事業所は認可外だが、認可保育園並みの助成を受け、同等の手厚い保育を行うのが特徴で同市内では8施設目。同市こども政策課は「保育園の待機児童数は減少傾向にあるものの、働く親の多様なニーズに対応してくれる企業主導型保育事業所が増えるのはありがたい」と話している。



オークラグループが開設する「あるこ保育園」＝加古川市